

辰川会グループが4月オープン グループホームおひさま

3月28・29日に内覧会開く



ベッド面積は四八八平方メートル。設計はアズ建築設計事務所（同市春日町）。施工は誠和建設（株）（同市沖野上町）。

医療・介護・福祉事業を手掛ける辰川会グループの社会福祉法人さんよう（辰川和美理事長）は4月1日、「グループホームおひさま」を福山市地吹町一三一八に完成予想図）。木造平屋建てで敷地面積は一二五〇平方メートル、延べ床面積は四八八平方メートル。

認知症で要支援二以上の人に入居できる。定員九人のユニットが二つあり、居室は全て個室で家具・ベッド付き。各ユニットには庭に面したりピングやウッドデッキを設け、スタッフに見守られながら庭の散策や花の手入れを楽しめます。

グループホームは、2011年に開園した同グループの事業所内保育園「おひさま保育園」に隣接しており、高齢者と幼児や保護者が自然な形で触れ合える施設を目指す。写真下（2月14日の様子）。

庭は地域住民や近隣にある同市立老人大学の受講者に開放し、野菜や花を自由に育てる予定。一般の人がいつでも訪問できるよう、専用の出入り口もある。

北欧など福祉先進国とされる各国を視察し、介護全般に関する研究を重ねてきた辰川理事長。「長く認知症介護に携わり、学んだことの集大成として、この施設を計画しました」と語る。



入居の敷金は不要。要介護度に応じた介護保険料（一割負担の場合、月額約二万一二万五〇〇円）が別途必要。症状が進んでも利用可能で、同グループの山陽病院（同市野上町）と連携して医療を提供。医療・介護スタッフが看取りまでを担う。

3月28日13時～17時は内覧会。介護専門スタッフによる個別相談もある。一般見学会は29日の11時～13時に行う。

問 **084-961-3951**（運営企画部・石井さん）
金額は最高で約三〇万円程度。申込み用紙はホームページ（<http://www.giso.or.jp>）からダウンロードできる。

一般財団法人義倉（福山市城見町一一四一五、藤原平代表理事）は、2020年度の助成金交付先となる団体を募集している。締め切りは4月30日で、助成金の

高級中華麺・食材・米穀



株式会社
はせべ

尾道市古浜町16-2 ☎ (0848) 22-7483(代)
FAX (0848) 25-2431

助成金交付先を募集 助成金交付先を募集

一般財団法人義倉（福山市

交付は7月中旬に行う。

対象は同市を中心活動している、特に社会的なニーズが高いと認められる団体。障害者支援▽高齢者福祉の増進

▽文化・芸術の振興▽児童・

青少年の育成▽教育・スポーツなどの振興や、地域産業の発展に寄与する団体などに助成する。

金額は最高で約三〇万円程度。申込み用紙はホームページ（<http://www.giso.or.jp>）から

